

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)	授業コード	E002702
担当教員名	國分 孝志		
配当学年	4	開講期	前期
必修・選択区分	必修	単位数	4
履修上の注意または履修条件	特になし。		
受講心得	論文作成に必要な文献・資料を持参してくること。		
教科書	「小説上杉鷹山」(集英社文庫)堂門冬二著		
参考文献及び指定図書	ゼミナールで説明します。		
関連科目	ゼミナールで説明します。		

授業の目的	現在、日本の企業は今までにないような厳しい経営を迫られています。新聞やテレビ等で毎日のように報道されているように、一流と言われている大企業でさえも、その多くは経営不振のために合併やリストラをせざるを得ない状況に追い込まれています。しかしながら、一方ではこのような厳しい経営環境にあっても、十分に業績を伸ばしている大企業や中小企業もあります。同じ日本、同じ経営環境の中で、何故なのか、何処が違っているのか、誰しもが疑問に思うところです。本ゼミでは、この疑問に対して、学生諸君と一緒に考えて、議論しながら、その解を見出していきたいと思っています。
授業の概要	論文作成

○授業計画		
学修内容	学修課題(予習・復習)	
<p>本ゼミは、2・3年次ゼミでのレポート作成や発表を通じて習得した学習成果に基づいて、卒業研究論文の作成に取り組むものです。前期は論文作成についての基本的な指導を行います。この間、ゼミ生は各自の論文のテーマを設定、参考文献の収集を行い、論文要旨レジュメの作成・提出をします。後期は論文作成の個別指導を行います。ゼミ生は4年間の大学生活学習の集大成となるような卒業研究論文の作成に注力下さい。併せて就職活動実行指導します。</p>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	卒業研究論文に対し積極的に取り組む姿勢。
【知識・理解】	卒業研究論文の経営学的なレベル。
【技能・表現・コミュニケーション】	卒業研究論文の論旨の理論的展開と説得性のある結論。
【思考・判断・創造】	卒業研究論文の経営学的なレベル。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		25点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		25点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		25点		
(「人間力」について) ※以上の観点に、「このころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	Sレベル: 研究論文の目的を十分に理解し、研究論文として十分なレベル。Aレベル: 研究論文の目的をほぼ理解し、研究論文としてほぼ満足できるレベル。Bレベル: 研究論文の目的をかなり理解し、研究論文として満足できるレベル。Cレベル: 研究論文の目的をやや理解し、研究論文としてをやや満足できるレベル。
発表・その他(無形成果)	卒業研究論文の学部発表会に参加することを目標とする。